



子どもと音楽



体育理論・体育実技

授業風景



子どもの食と栄養 I



自立に向けた移動介護・食事介護

CONTENTS

2020年度 聖句

「見よ、新しいことをわたしは行う。
今や、それは芽生えている」
(イザヤ書43章19節)



- 伊藤忠彦 理事長(就任のご挨拶)..... 2
- 理事長任職式、入学式 佐藤守男 学長(新入生の皆さんへ).... 3
- TOPICS..... 4
- 2020年度 新任教職員紹介..... 5
- 2019年度決算書・2020年度予算書 概要..... 6～7

理事長就任のご挨拶

第9代理事長 伊藤 忠彦



この度、学校法人和泉短期大学の第9代理事長に選任されました。

前理事長の深町正信先生（青山学院名誉院長）が任期満了に伴い退任され、この重責を引き継ぐことになりました。よろしくお願いいたします。

本学（和泉短期大学）は、バット博士記念養成所に始まり、玉川保母専門学院、1965年の和泉短期大学児童福祉科の開学にわたる、64年の児童の養護、保育、教育、福祉の従事者、さらに高齢者福祉（介護福祉）の従事者の育成を目指し、専攻科介護福祉専攻を置く短期大学です。

あえて付け加えれば、上記の専攻科の前身である、和泉福祉専門学校は、わが国、最初の介護福祉士養成校として誕生した専門学校でした。

また、本短期大学は、児童福祉学科を置いている、ただ一つの単科の短期大学でもあります。

この本学の歩みを見ていただくとお分かりいただけのように、本学は福祉、教育に専心して、運営を進めてきた高等教育機関です。

本学の本館入り口の側壁に、ラテン語で「願わくは、このキリストの泉から、若者たちの清らかさと、愛とが湧き出でんことを」と刻印されたブロンズのパネルが掲げられています。

これは、本学の歴史に係わり、支えて来られた、先達の建学の精神に基づいた願い、また祈りであります。

ここで用いられている

「愛」は、人種も国も、立場をも超えた、隣人愛のことです。「自分を愛するよいうに、あなたの隣り人を愛せよ」（マタイ19・19）と、キリストがおっしゃった、

また「わたしたちは、強くない者の弱さになうべきである」（ロマ15・1）と、ロマ書に記されている愛です。

この度の、理事長就任は、私にとって、荒海に浮かぶ船の舵を任された、無知な船乗りの有様で、これに対処する確かな言葉がありません。

この度の、新型コロナウイルス感染症の発生の下で、本学も、これまでの入学者式や授業（講義・演習・実技）ができず、学生たちの自由な歓談や、クラブ活動も出来ない状況は、おそらく、開学以来の異常事態だと言えます。

しかし、このような状況

下だからでしょう。この危機を克服しようとして、新しい大学、新しい教育の在り方を模索する提案や試みが始まっているように思います。

この状況下での教育、教育機関、特に初等教育、保育所・幼稚園・小学校教育にとつて、否、高等教育にいたるまでと言ってもよいかもしれません。

ウイルス感染拡大を防ぐのに話題となる「密集場所」や「密接場所」、「密閉場所」が、尚、私達の成長と、生活にとつて、必要で、大切で、普遍的な意味をもって、いることを、忘れないでいたいと思うのです。

また、何よりも、この困難なコロナ禍が、一日も早く終息し、以前の学び舎が戻ってくることを願い祈るものです。

Profile

【学内】

学校法人クラーク学園

第7代理事長

和泉短期大学

第7代学長（3期12年）

学校法人和泉短期大学理事

学校法人和泉短期大学

内部監査室長

元学校法人クラーク学園

和泉短期大学チャプレン

元和泉短期大学教授、特任教授

【学外】

社会福祉法人白十字会

林間学校理事長

社会福祉法人相模和泉福祉会

理事長

社会福祉法人さがみ愛育会理事

社会福祉法人悠朋会理事

元学校法人平和学園理事

元学校法人桜美林学園評議員

第9代 理事長任職式が行われました



6月22日(月)11時10分から、和泉クラーク・ホールにおいて、伊藤忠彦理事長の任職式が行われ、理事・監事・教職員が出席しました。

任職式は、西田恵一郎チャプレンの司式で行われました。序詞、讃美歌、聖書朗読、誓約、祈祷、佐藤学長より新理事長紹介の後、伊藤忠彦第9代理事長が就任挨拶を述べました。

和泉短期大学 第56回児童福祉学科、第11回専攻科介護福祉専攻入学式を挙行了しました

新型コロナウイルス感染拡大防止により、延期しておりました2020年度入学式は、3密を避け、2020年6月8日(月)および、15日(月)の2回に分けて、和泉クラーク・ホールにおいて挙行了しました。

入学式の後、新入生はグループアドバイザーとグループごとのミーティングを行い、午後にはオリエンテーションが行われました。新入生が良き保育者、介護福祉士に成長することを願っています。



- ①3密をさけるためにソーシャルディスタンスをとっています
- ②フェイスガード越しに告示を述べる佐藤学長
- ③学内に設けられた「希望の木」
(学生が目標を花びらに書いて咲かせます)

新入生の皆さんへ

学長 佐藤 守男



児童福祉
学科202
名、専攻科
介護福祉専
攻15名の新

入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。和泉短期大学を代表し、心からお喜び申し上げます。

ところで、本来ですと、新入生全員揃って4月1日に『和泉短期大学 第56回入学式』『専攻科介護福祉専攻 第11回入学式』を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が流行したため、6月8日と15日の2回に分けて入学式を行いました。

これから暫くはこの新型コロナウイルスが蔓延していると思えますが、このような時

であっても、皆さんには、生きることの素晴らしさを知り、人生を楽しんでもらいたいと思っています。そのために、皆さんに最も大切にしてほしいことは、自分のことを好きになる「自己肯定感」を育ててほしいことです。「自己肯定感」がなければ自分に対してネガティブになりますから、神から授かった個性(タレント)に出会うことは難しいでしょう。皆さんには自分の個性を見つけ、その個性を

もって、社会に貢献できるように、積極的に学んで欲しいと思います。

そしてまた、皆さんには、たくさんの良い仲間を作り、その中で切磋琢磨しながら協調性を養い、信頼関係を築いてくださることをお勧めします。学校で学ぶという事は、自分だけが成長するのではなく、多くの仲間とともに自分も一緒に成長していくものです。また、教員からの知識や技術の伝達を通して、教員の人格も投影されていくものです。ですから、学校だけに限りませんが、尊敬できる方に出会えたら、その方の生きる姿勢やものの考え方、接し方なども、学ぶとよいと思えます。

最後に、私たち和泉の教職員はこのようなコロナ禍にありながらも、皆さんに最善の教育環境を提供できるよう、努力していきます。

皆さんも周りの人たちと協力し合い、励まし合いながら、「新たな生活様式」を保ちつつ、和泉での学びを、続けてほしいと思います。

改めまして、和泉短期大学を代表し、新入生への歓迎の挨拶とさせていただきます。

コロナ禍の中の実習 ～実習先の皆様に支えられて～

実習サポートセンター長 松山 洋平



本学児童福祉学科は、幼稚園教諭免許状と保育士資格の取得を目指す学生たちのために2年間で4回の実習を行い、日頃より近隣施設に大変お世話になっております。今年度は、新型コロナコ

ロナウイルス感染症の影響により、授業の実施もさることながら学外での実習が行えるかどうか、非常に厳しい対応が迫られました。保育学を学びたいと集まってきている学生たちにとって、子どもと直接関わる実習は、何事にも代え難く、今まで学び得たことを基にして一気に成長する貴重な機会です。

事前の実習指導授業では、内容を何度も吟味し、オンラインでの授業（オンデマンド教材、リアルタイム指導、課題学習等）を取り入れて学びをサポートしてきました。また、新型コロナウイルス感染拡大予防のために「感染症対策実施要項」や「実習前・実習中における新型コロナウイルス感染防止対策」など新たな規程や取り組みも行ってきました。

当初6月初旬に予定していた幼稚園での実習は、実習先との度重なる調整により時期や期間を変更しつつ、約200名の学生の配属を確保することができました。実習から戻ってきた学生からも、有意義な実習が行えたという声が多数届いています。ひとえにコロナ禍にありながらも未来の保育者の養成のためにご尽力いただきました実習先の皆様のご指導の賜物です。改めて御礼申し上げます。



県立相模原総合高等学校出身

今村 美希

私は今回の幼稚園実習で、様々な行事に参加させていただきまして、大変貴重な時間を過ごしています。この貴重な時間で得た学びを今後にも活かしていきたいと思っています。

TOPICS

在学生に前期教科書を無償提供しました

5月18日(月)、1年生・2年生・専攻科のみなさんに向けて、教科書(前期は無償提供しました)と課題を発送しました。連日多くの教職員が協力して学生一人ひとりを想い丁寧に発送準備を行ってまいりました。学生のみさんと教職員の私たちが繋げてくださる佐川急便の方々にも心より感謝いたします。



相模中央キリスト教会からマスクの寄贈をいただきました

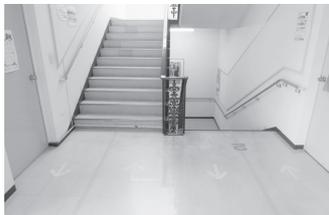
本学の教授の所属教会である日本バプテスト連盟相模中央キリスト教会(大和市中央林間)から本学に対して、マスク2,000枚の寄贈がありました。貴重なマスクの寄贈は本学の学生にとって、非常に有難く、心より感謝申し上げます。

頂いたマスクは新型コロナウイルス感染予防対策・学生の安全・安心確保に使用させていただきます。誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス拡大防止に向けての様々な取り組み (全館空調及び常時換気)



事務局窓口：飛沫感染予防のために、窓口にビニールシートを設置しています。



廊下・階段：校舎内は右側通行とし、歩行時の安全を守るようにしています。



教室：学生同士が密にならないように間隔を空けて座っています。



教卓：教卓には飛沫防止用のアクリル板を設置しています。



図書館：図書の貸し借りの時、学生同士の距離を空けるよう表示しています。



学生食堂：十分な間隔を空けてテーブル・イスを設置しました。



Yショップ：レジに並ぶ際の客の立ち位置を表示し、客同士の距離を空けるようにしています。



スクールバス：運転席と乗客席との間をビニールシートで仕切り、飛沫感染への防止をしています。

2020年度 新任教職員紹介

専攻科介護福祉専攻 特任准教授 出村由利子



この度再びお世話になります。前より力まず楽しく過ごしているからでしょうか。先日、「とうきびがおがっていいな」と自然に方言がでてしまいました。「とうきび」は「とうもろこし」、「おがる」は人間や植物で「成長する、大きくなる」という方言です。毎日学生に教えられ元気に「おがって」おります。よろしくお願いたします。

教育・学習支援ユニット(実習担当) 十時 愛美



今年の3月まで市内の幼稚園にて5年間勤めており、今年度よりご縁あつて母校である和泉短期大学にて勤めさせて頂くことになりました。当時の自分と同じ夢を胸に抱いている学生さんたちの姿を見て、懐かしく感じるとともに今度は支える側だという責任も感じております。私自身も共に学び、日々精進して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

広報渉外ユニット 天野 莉那



私は和泉短期大学を卒業後、市内の幼稚園に就職し3年間勤めてきました。そして今年度より、ご縁があつて広報渉外ユニットで働かせていただきました。現場で学んだ経験を踏まえ、保育者としての楽しさ、そして和泉短期大学の魅力を高校生をはじめ、多くの人に伝えていきたいと思っております。至らない点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願致します。

学校法人理事・監事・評議員改選

- 理事長
退任 深町 正信 2020年6月12日付(任期満了)
就任 伊藤 忠彦 学校法人和泉短期大学 第9代理事長(新任)
任期：2020年6月15日～2024年6月12日(4年)
- 理事
退任 深町 正信 2020年6月12日付(任期満了)
長山 篤子 2020年6月14日付(任期満了)
新美 臣江 2020年6月14日付
就任(新任)
須田 拓 2020年6月13日付
片山 知子 2020年6月15日付
武石 宣子 2020年6月15日付
- 監事
退任 小椋 郊一 2020年5月31日付(任期満了)
就任(新任)
横倉 光男 2020年6月1日付
- 顧問
就任 深町 正信 2020年6月15日付
- 評議員(2020年5月31日付)
退任 遠藤 陽子 須田 拓 長山 篤子 横倉 光男 西田恵一郎
就任(新任)(2020年6月1日付)
大下 聖治 白井智恵子 大下 純 片山 知子

人事

1. 退職(2020年3月31日付)
専攻科介護福祉専攻 佐久間志保子 教授 下西 潤子 特任講師
児童福祉学科 穴井 康夫 教育・学習支援ユニット主任
2. 就任(2020年4月1日付)
大下 聖治 和泉短期大学副学長・認証評価連絡調整責任者(ALO)
任期：2020年4月1日～2021年3月31日
- 教員部長・主任 任期 2020年4月1日～2021年3月31日
山本美貴子 学生部長 松山 洋平 実習サポートセンター長
佐藤 美紀 専攻科介護福祉専攻主任
3. 任用(2020年4月1日付)
武石 宣子 特任教授
十時 愛美(教育・学習支援ユニット(実習担当)(契約))
天野 莉那 広報渉外ユニット(非常勤)
専攻科介護福祉専攻 佐久間志保子 特任教授 出村由利子 特任准教授
4. 昇任(2020年4月1日付)
西田恵一郎 教授 久保小枝子 准教授
5. 配置(2020年4月1日付)
曾根真理子 教育・学習支援ユニットリーダー(学生支援ユニットリーダー)
田中 孝一 学生支援ユニットサブリーダー
(教育・学習支援ユニットサブリーダー(実習業務))
芹澤 薫 庶務ユニット(施設担当)主任兼広報渉外ユニット主任
(庶務ユニット(法人担当)主任兼広報渉外ユニット主任)

表彰

永年勤続(15年)(2020年5月15日)
横川 剛毅 教授

■訃報
故 秋山 光江 氏 秋山信義評議員 御母室(2020年3月5日)
主による平安をお祈りいたします。

相模原市地域連携

相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定証授与

相模原市民を対象とするボランティア活動であり、主に相模原市内で行われる活動です。相模原市内の施設・団体を拠点とした活動だけでなく、相模原市内の施設・団体による行事の引率等で市外に出かける活動、本学の実施している「はっぴい」、「すまいいい」、オレンジリボンの配布など、様々な活動を含みます。本学からは4名が“ボランティア修士(90時間以上)”2名、“ボランティア学士(30時間以上)”2名に認定されました。和泉短期大学はこれからも学生とともに地域に貢献してまいります。



児童福祉学科 2年
折口 充幸 さん
〈ボランティア学士〉
(日本大学高等学校出身)



児童福祉学科 2年
小山 大智 さん
〈ボランティア学士〉
(県立津久井高等学校出身)



児童福祉学科 2年
川野 翔太 さん
〈ボランティア修士〉
(県立中央農業高等学校出身)



児童福祉学科 2年
小俣 美由紀 さん
〈ボランティア修士〉
(県立相模原総合高等学校出身)

— 2019年度決算書概要説明 —

厳しさを増す運営状況

2020年5月29日(金)開催の理事会、評議員会において2019年度決算が承認されました。

2019年度決算の概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を表す「資金収支計算書」、経営状態を表す「事業活動収支計算書」、財政の安全性を表す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成しています。

本法人の財務に関する公表は、「財務計算書に関する書類」とともに、本IZUMI NEWSでは資金収支計算書概要、事業活動収支計算書概要、貸借対照表決算概要を公表します。

資金収支計算書は、2019年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収支合計は737,445千円です。これに対し資金支出合計は865,055千円です。127,610千円支出超過です。

2019年度末支払資金である翌年度繰越支払資金(現金預金)は1,904,164千円で、前年度繰越支払資金(現金預金)2,031,774千円に比べて資金収支差額は、127,610千円減少しました。

事業活動収支計算書は、当該年度の学校法人の収入及び支出の均衡状況を明らかにし、学校法人が健全であるかを示す計算書です。3つの収支区分(①教育活動収支、②教育活動外収支、③特別収支)から構成されています。

経常収入(教育活動収入533,481千円と教育活動外収入19,721千円)553,202千円の84.7%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本法人の運営に甚大

な影響を及ぼすこととなります。事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)△98,514千円から第1号基本金2,591千円と第3号基本金2,132千円の合計額△4,723千円を基本金に組入れた後の当年度収支差額は103,237千円支出超過でした。教育活動支出の大半を占める人件費は、390,039千円で人件費比率は、70.5%です。教育研究経費は、163,636千円、管理経費は、112,962千円でした。

3つの区分の合計額である事業活動収入計は570,662千円、事業活動支出計は、669,176千円でした。

2019年度予算の事業活動収支差額は147,249千円支出超過でしたが、決算では、収入の部は私立学校施設設備費補助金、有価証券売却収入で増収を図り、支出の部は教育研究費、管理経費の効果的かつ維持管理の効率的支出を行い、予備費30,000千円は未使用で済んだため、98,514千円の支出超過になり、48,735千円収支差額を改善しました。

貸借対照表は、2019年度末における当法人の資産の部、負債の部、純資産の部の3つの要素から構成され、学校法人の財政状態を明らかにする計算書です。有形固定資産の土地、建物、構築物、機器備品等については、取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。

資産の部合計は、8,458,551千円です。退職給付引当金と前受金が大部分を占める負債の部合計は、333,042千円です。基本金と繰越収支差額で構成されている純資産の部合計は、8,125,509千円です。負債の部合計と純資産の部合計は、8,458,551千円です。

— 2020年度予算書概要説明 —

厳しい予算編成

2020年3月28日(土)評議員会、理事会において2020年度予算が承認されました。計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書で構成されます。2020年度予算書の概要を説明いたします。

資金収支予算書の資金収支合計は、709,569千円、資金支出合計は1,499,823千円です。資金収支差額は、790,254千円支出超過になる見込みです。ただし、これは現金預金から指定金銭信託に600,000千円の預け替えを行うことが大きな要因です。

和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による18歳人口の減少、保育を取り巻く環境の変化、受験生の4年制大学志向等、2020年度高大接続改革等、本学を取り巻く経営環境は年々急速に変化しています。本学は、経常収入の79.3%を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題です。

2019年度は和泉クラーク・ホールの照明器具移設(耐震)工事、1号館窓枠サッシカバー工法漏水対策工事等を行いました。2020年度は、3号館外壁防水塗装、シール打ち替え工事、空調機チラー2台取替更新、高等教育の修学支援新制度による入学金・授業料の一部減免による奨学金新制度が始まります。

相模原市に移転後44年が経過し、校舎等の計画的な修繕計画及び教育の質保証のためのICT機器の整備、教育研究活動の維持向上を図るために教育環境の整備計画と経費削減をはじめとした経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図って参ります。

深町正信理事長による「2020年度学校法人和泉短期大学の基本構想」は、4つ柱として、1. 学習成果の可視化、内部質保証方針、2. 3つのポリシーの見直し、アセスメントプランの制定、3. 理事長任期満了による退任、理事・監事・評議員

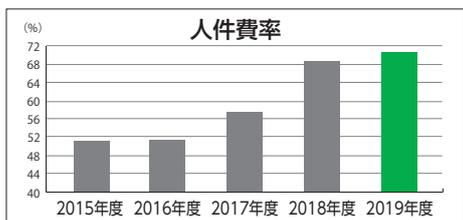
事業活動収支予算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の3つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。3つの区分の合計額である事業活動収入計は599,598千円です。基本金組入額合計は、9,580千円です。事業活動支出計は予備費30,000千円を含め763,454千円です。2020年度事業活動収支差額は、163,856千円支出超過になり、大変厳しい予算編成です。

の改選、ガバナンス体制の強化、4. 3号館外壁等防水改修工事を中心に事業展開をして参ります。

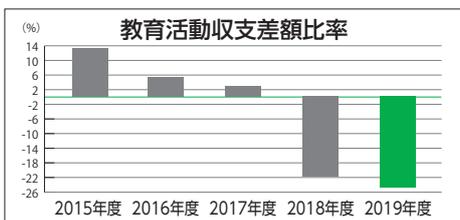
また、2020年度から改正私立学校法の施行に伴い、寄附行為を改正し、学校法人和泉短期大学第2次中期計画15のビジョン(2020年度～2024年度)を策定し、評議員会、理事会で承認されました。コロナショックによる先行き不透明な時代の中で年々厳しさを増している経営状況下において、本学の教育環境を整備充実させていくために、2020年度も引き続き「教育環境充実資金募金」と本学独自の給付型奨学金「愛のいずみ基金奨学金」の募金活動を行います。また、入学定員確保と本学のさらなる発展を目指して今後も「出るを制して、入るを計る」ことを原則とし、日頃から業務改善と経費削減に取り組み、入念に効率的にそして慎重に予算を執行し資金の有効活用に努めます。

建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた本学の特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となり努力して参ります。 事務局長 土橋 正文

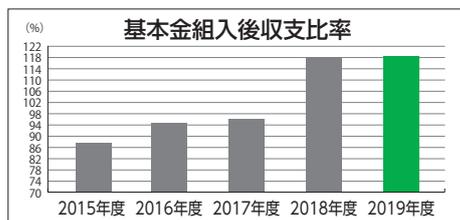
— (2015年度～2019年度) 財務比率推移(グラフ)と説明 —



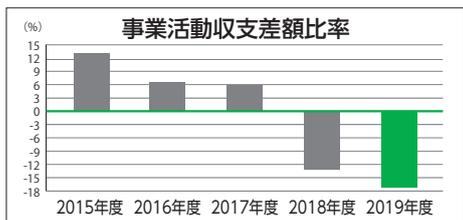
経常収入に対する人件費の割合。50%以内が目安です。人件費は、経常支出の中でも最大の比重を占める支出です。人件費が膨らみ収支状況が悪化しています。



本業である教育活動の収支バランスを表す比率。学校本来の教育活動による収支差額を表わして、本業である教育活動収入の範囲内でどの程度余裕を持って運営できているかを把握することができます。



事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率。90%以上になると経営が困難になると言われています。臨時的な固定資産の取得等による基本金組入が著しく大きい年度において、一時的に上昇する場合があります。この2年間は学納金減収により、100%を超えています。



旧属属収支差額比率。学校法人の純利益を表わす、重要な財務比率です。比率がプラスで大きいほど自己資金が充実しています。プラス分から将来の施設設備の取替更新の余裕を示します。マイナスが何年も継続して行くと経営は窮乏し、資金が枯渇します。10%以上を経営安定の指標にしています。この2年間はマイナスになっている状況です。



経常的な活動に関する収支バランスを表す比率。この比率は、臨時的な収支を考慮しない通常の事業活動による収支バランスを示す比率のため、支出超過の場合は財政が逼迫していることを表しています。支出超過分が、減価償却額の範囲内であれば、資金ショートを起こすことはありません。経営の健全性を表す指標です。



経常収入に占める学生生徒等納付金収入の割合です。経常収入に占める学生生徒等納付金への依存度が高いため、学生数の減少は、経営に甚大な影響を及ぼすため補助金、その他の収入の増額を諮る必要があります。

— 資金収支計算書概要 —

2019年度決算・2020年度予算

収入の部

(単位：千円)

科 目	2019年度決算額	2020年度予算額
学生生徒等納付金収入	468,648	475,520
手数料収入	6,787	6,660
寄付金収入	2,296	1,000
補助金収入	39,870	59,550
国庫補助金	39,797	59,450
地方公共団体補助金	73	100
資産売却収入	192,852	0
付随事業・収益事業収入	6,566	18,868
受取利息・配当金収入	19,721	19,582
雑収入	13,842	18,242
前受金収入	142,910	145,700
その他の収入	26,518	123,949
資金収入調整勘定	△ 182,565	△ 159,502
資金収入合計	737,445	709,569
前年度繰越支払資金	2,031,774	1,904,164
収入の部合計	2,769,219	2,613,733

支出の部

(単位：千円)

科 目	2019年度決算額	2020年度予算額
人件費支出	392,760	406,732
教育研究経費支出	101,682	149,885
管理経費支出	105,484	119,443
施設関係支出	10,414	120,796
設備関係支出	1,454	1,018
資産運用支出	250,071	669,818
その他の支出	12,010	15,766
[予備費]		30,000
資金支出調整勘定	△ 8,820	△ 13,635
資金支出の部合計	865,055	1,499,823
翌年度繰越支払資金	1,904,164	1,113,910
支出の部合計	2,769,219	2,613,733
資金収支差額	△ 127,610	△ 790,254

— 事業活動収支計算書概要 —

2019年度決算・2020年度予算

(単位：千円)

科 目		2019年度決算額	2020年度予算額	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	468,648	475,520	
	手数料	6,787	6,660	
	寄付金収入	2,376	1,176	
	経常費等補助金	35,270	59,550	
	付随事業収入	6,566	18,868	
	雑収入	13,834	18,242	
	教育活動収入計	533,481	580,016	
	事業活動支出の部	人件費	390,039	401,764
		専任教員給	201,576	201,661
		兼任教員給	9,704	10,172
		専任職員給	161,217	163,680
		兼任職員給	9,296	12,317
		役員報酬	3,800	3,800
		退職給与引当繰入額	3,741	6,147
退職金		705	3,987	
教育研究経費		163,636	204,556	
(減価償却額)		61,882	54,495	
管理経費		112,962	127,134	
(減価償却額)	7,375	7,691		
(広報宣伝費)	20,912	21,164		
教育活動支出計	666,637	733,454		
教育活動収支差額	△ 133,156	△ 153,438		
教育活動外収支	受取利息・配当金	19,721	19,582	
	教育活動外収入計	19,721	19,582	
	教育活動外支出計	0	0	
	教育活動外収支差額	19,721	19,582	
特別収支	経常収支差額	△ 113,435	△ 133,856	
	資産売却差額	12,852	0	
	その他の特別収入	4,608	0	
	特別収入計	17,460	0	
	資産処分差額	2,531	0	
	その他の特別支出	8	0	
	特別支出計	2,539	0	
	特別収支差額	14,921	0	
	[予備費]		30,000	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 98,514	△ 163,856	
基本金組入額合計	△ 4,723	△ 9,580		
当年度収支差額	△ 103,237	△ 173,436		
前年度繰越収支差額	2,856,106	2,752,869		
基本金取崩額	0	0		
翌年度繰越収支差額	2,752,869	2,579,433		
事業活動収入計	570,662	599,598		
事業活動支出計	669,176	763,454		
事業活動収支差額(基本金組入前当年度収支差額)	△ 98,514	△ 163,856		
事業活動収支差額比率(旧帰属収支差額比率)	-17.3%	-27.3%		

— 2019年度 貸借対照表概要〈2020年3月31日〉 —

(単位：千円)

資産の部			
科 目	2019年度末	2018年度末	増 減
固定資産	6,537,813	6,533,647	4,166
有形固定資産	2,842,419	2,902,187	△ 59,768
土地	1,928,418	1,928,418	0
建物	781,302	827,112	△ 45,810
構築物	9,851	12,707	△ 2,856
教育研究用機器備品	33,390	43,538	△ 10,148
管理用機器備品	5,228	6,667	△ 1,439
図書	84,230	83,745	485
特定資産	2,949,868	2,891,736	58,132
第2号基本金引当特定資産	100,000	100,000	0
第3号基本金特定引当資産	335,868	333,736	2,132
減価償却引当特定資産	1,980,000	1,919,000	61,000
退職給与引当特定資産	174,000	179,000	△ 5,000
施設拡充引当特定資産	360,000	360,000	0
その他の固定資産	745,526	739,724	5,802
電話加入権	690	690	0
施設利用権	246	398	△ 152
定期預金	732,900	727,900	5,000
積立保険金	11,690	10,736	954
流動資産	1,920,738	2,048,380	△ 127,642
現金預金	1,904,164	2,031,774	△ 127,610
未収入金	13,595	13,534	61
貯蔵品	2,978	3,072	△ 94
立替金	1	0	1
資産の部合計	8,458,551	8,582,027	△ 123,476

(単位：千円)

負債の部			
科 目	2019年度末	2018年度末	増 減
固定負債	174,312	177,025	△ 2,713
退職給与引当金	171,762	174,475	△ 2,713
預り敷金	2,550	2,550	0
流動負債	158,730	180,979	△ 22,249
未払金	8,820	5,765	3,055
前受金	142,910	168,970	△ 26,060
預り金	7,000	6,244	756
負債の部合計	333,042	358,004	△ 24,962
純資産の部			
科 目	2019年度末	2018年度末	増 減
基本金	5,372,640	5,367,917	4,723
第1号基本金	4,886,772	4,884,182	2,590
第2号基本金	100,000	100,000	0
第3号基本金	335,868	333,735	2,133
第4号基本金	50,000	50,000	0
繰越収支差額	2,752,869	2,856,106	△ 103,237
翌年度繰越収支差額	2,752,869	2,856,106	△ 103,237
純資産の部合計	8,125,509	8,224,023	△ 98,514
負債の部、純資産の部	8,458,551	8,582,027	△ 123,476

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 2,043,417千円
 2. 翌会計年度以降の基本金への組入額 0千円

2020年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にあります。本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標金額 3,000,000円
募金募集期間 2020年6月～2021年3月(第3期)
募金金額 1口5,000円
払込方法 郵便振替口座
 口座番号 00280-6-105705
 口座名 学校法人 和泉短期大学
 愛のいずみ基金奨学金

寄付者一覧(敬称略) <2020年4月1日～2020年7月31日>

井狩 芳子/池田 悦子/石川 明雄/伊藤 忠彦/今泉 治子/潮田 健治/小椋 郊一/小野家善郎/片山 知子/川井 俊幸/岸川 洋治/後藤 好夫/佐藤 蘭美/佐藤 守男/杉山 潔実/曾根真理子/武石 宣子/長山 篤子/新田 恭平/森 三樹/深町 正信/福嶋美佐子/山本美貴子/匿名希望(1件) 以上24件 685,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人
和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)
 042-754-1133

2020年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保育専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2020年5月に学校法人和泉短期大学は創立64年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生は19,415名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げます。次第であります。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2020年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

みなさまには出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業 1. 3号館空調設備チラー(2台)交換工事
 2. 3号館和泉クラーク・ホール外壁等防水工事
 3. その他教育環境改善費他

寄付者一覧(敬称略) <2020年4月1日～2020年7月31日>

井狩 芳子/池田 悦子/石川 明雄/伊藤 忠彦/今泉 治子/潮田 健治/臼井智恵子/小椋 郊一/小野家善郎/片山 知子/岸川 洋治/雑賀えり子/佐藤 蘭美/佐藤 美紀/佐藤 守男/下谷 正道/曾根真理子/武石 宣子/長山 篤子/深町 正信/松岡 裕/山本美貴子 以上22件 840,000円

募金目標金額 10,000,000円
募金募集期間 2020年6月1日～2021年3月31日
募金金額 1 個人 1口 5,000円
 2 法人 1口 10,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人
和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)
 042-754-1133

2020年度 夏の工事について

夏期休業期間中に下記の通り工事を実施します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願いします。

工事名	場所	実施時期	内容	実施会社
1 外壁・防水塗装工事	3号館	2020.6.18～8.25	◎前回工事から14年が経過している。 ◎建物維持の為に実施する。	戸田建設(株)
2 屋根補修工事	3号館	2020.7.27～8.25	◎屋根ビス止め、伸縮による継ぎ補修、シール打ち、棟木交換	戸田建設(株)
3 受変電設備 高圧コンデンサー更新工事	1・3号館第1変電所	2020.8.15	◎2019年度に実施した電気工作物年次点検報告書による指摘事項	シーエスイー(株)
4 受変電設備 ブレーカー更新工事	1・3号館第1・2変電所	2020.8.15～16	◎コンデンサー及びブレーカーが劣化しているため交換する。	シーエスイー(株)
5 エレベーター機能維持工事	4号館	2020.8.11	◎機能維持工事、3年計画の2年目 ◎制御盤内の制御ボード(ドライブユニット)を交換する。	日本オーチス・エレベータ(株)

夏期一斉休暇期間 8月9日(日)～16日(日)

庶務ユニット(施設担当)